

市民文教常任委員会会議記録（概要）

平成28年9月23日（金）

開 会（午前9時0分）

【議 事】

○議案第80号「所沢市民文化センターの指定管理者の指定について」

石本委員長

本日は、参考人として公益財団法人所沢市文化振興事業団事務局長の神木祐次氏に御出席をいただいております。この際、参考人の方に一言御挨拶を申し上げます。本日は、お忙しい中にもかかわらず、本委員会のために御出席いただき、誠にありがとうございます。委員会を代表して心からお礼を申し上げますとともに、忌憚のない御意見をお述べくださるようお願いいたします。なお、議事の順序等ですが、神木参考人から御意見を述べていただき、その後、委員の質疑にお答えいただくようお願いいたします。

【参考人意見】

神木参考人

それでは、委員長から発言の機会をいただきましたので、議案第80号「所沢市民文化センターの指定管理者の指定について」の審査に当たりまして、ミューズ及び事業団の概要、そしてここ数年の事業団の新たな取り組み等につきまして、御説明をさせていただきたいと思っております。初めに、

ミュージズの建設の経緯でございますが、所沢市では昭和36年に909席の市民会館が建設され、市民の文化活動の拠点として活用してまいりました。年月が経ち、施設の老朽化が進む中、市民の芸術文化活動への参加意識が高まるにつれて、市民からは専門性の高い機能を備えた新しい文化施設建設の要望が寄せられるようになりました。こうした中、昭和46年6月に米軍所沢通信基地約300万平米のうち、約6割に当たる192万平米が国に返還され、これに伴い昭和47年11月に策定された所沢基地跡地利用基本計画の中で、現在ミュージズが建設されている部分が会館予定地として位置づけられ、準備が進められたところでございます。基本構想につきましては昭和63年1月から平成元年1月まで、基本計画につきましては平成2年2月から平成2年7月までの期間で策定されまして、その後、基本設計書の承認、実施設計の決定を経て、平成3年4月に本体工事に着工し、平成5年6月30日に竣工、その後外構工事等を経て平成5年11月1日にオープンしたものでございます。次に、事業団設立の経緯でございますが、所沢市民文化センターは市民の芸術文化活動、創造的活動の拠点となる施設として、常に利用者である市民の立場に立ち、市民の誰もが気軽に利用できる開かれた管理運営を目指す必要があったことから、市民ニーズに柔軟に対応できる弾力的な運営が求められておりました。従来市の直営での管理運営では予算等々の制約があり、運営が画一的になることが懸念されたため、積極的に民間活力を導入することとし、ミュージズを管理運営する法人としまして、財団法人所沢市文化振興事業団が平成4

年7月23日に設立されました。平成5年のオープンから平成17年度までは、所沢市からミューズの管理運営を受託しておりましたが、平成15年9月の地方自治法の改正、いわゆる指定管理者制度の施行でございますが、これに伴い平成18年度からは指定管理者として施設の管理運営を行っているところでございます。なお、当事業団は平成20年12月に施行されました公益法人制度改革に伴い、平成25年4月1日に財団法人から公益財団法人に移行して現在に至っているところでございます。次に、事業団の予算規模でございますが、施設の管理運営及び法人の運営で約5億円、自主事業関係で約3億円の年間8億円の経費がかかっております。それぞれの主な財源でございますが、施設の管理運営及び法人の運営に係る管理委託料が約5億円でございます。また、自主事業関係につきましては、施設・備品・駐車場の利用料金収入、それからチケット販売収入、オルガンスクールの受講料等の事業収入を合わせまして、3億円でございます。自主事業では、ミューズで行うコンサート等の鑑賞事業の他に、市内のまちづくりセンターや市内小学校・福祉施設へのアウトリーチ事業（訪問公演）、オルガンスクール、能楽ワークショップ、ミュージカルなどを実施しておりまして、市民参加・体験事業など年間80本程度実施しております。現指定管理期間である平成24年度から昨年度まで4年間の年間の平均来場者数は約6万8,000人、施設全体では約46万人でございます。貸館業務における大・中・小ホールを含む全14施設の利用率ですが、4年間の年平均が83.2%です。全国公立文化施設協会の平成26年度の

劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査研究報告書によりますと、全国平均が78.9%ですので、文化振興の拠点施設として非常に多くの方々に御利用、御活用いただいております。事業団は、これまで約23年間にわたり施設の管理運営を行い、多種多様な自主事業を実施してまいりましたが、所沢市が推進する所沢ブランドの推進とまちの活性化に寄与するため、所沢市を始め関連業界及び施設利用者、地域の民間事業者や市民グループ、教育機関などと連携した事業展開をするとともに、利用者サービス・市民サービスの向上、そして、チケットの販売促進に重点的に取り組んでおります。ここ数年の主な取り組みを申し上げますと、市や地元企業、地域と連携した事業では平成25年度から、市が推進する音楽のあるまちづくりへの協力事業として若手アーティストを起用したミニコンサートを市役所市民ホールで定期的で開催しています。平成27年度には、市内に拠点を置く世界的なフルーツメーカーである株式会社村松フルーツ製作所の協力により、所沢市との共催事業として、初心者のためのフルーツはじめて講座を実施しました。このほか継続事業として、市民の実行委員会と連携した、ところざわ夢あかり音楽会や劇団四季及び教育委員会との連携による市内小学6年生全員のミュージカル公演への招待を実施しているところでございます。また、新たな利用者サービス、市民サービスの向上においては、事業団独自の取り組みとして、平成26年度より友の会サプライズチケットプレゼント企画を実施いたしました。これは、会員サービスの向上、チケット販売促進、会員の維持、休眠会員の掘り起こしの

ための企画です。ミューズ友の会は平成12年に発足し、この事業を実施した平成26年度は15年目に当たりまして、当時3,383人の会員の皆様にはチケットの優先予約や1割引きの特典がありましたが、会発足以来、継続会員となりミューズを支援して下さった会員に対して、サプライズチケットプレゼントを実施したものでございます。その結果、平成12年から平成16年まで5年間の継続会員の方は1,304人おりましたが、その中で申し込みをされた方が908人ということで約70%でございました。会員の方にはサプライズチケットをお渡ししましたが、隣席についてはお買い求めいただきました。293人で追加購入率は約33%で、購入額は約130万円でした。それから、平成27年7月26日から友の会即日入会の受け付けを開始いたしました。これは、会員サービスの向上、チケットの販売促進、顧客開拓を目的として即日入会を開始したものでございます。次に、平成27年11月より施設利用のキャンセル待ち予約を開始しました。これにつきましても、利用者サービスの向上、利用率・稼働率のアップを図ったものでございます。次に、平成27年12月からは、自主事業の開場時間を45分前開場といたしました。従来は30分前開場でしたが、屋外待ち時間の短縮、入場までの混雑緩和、ホールビュッフェ等の売上向上などを目指して図ったものでございます。それから、平成26年5月からは、急な雨で傘がなくお困りの利用者に対して、リサイクル傘のレンタル事業を開始いたしました。この事業につきましても、不用品を活用するとともに利用者サービスの向上を図ったものでござ

います。次に、平成26年10月より、市内転入者への500円コンサート招待券の配布を開始いたしました。これは、転入と同時に早い段階でのミュージズへの来場を促し、施設及びその事業を知っていただき、新たな顧客開拓やチケットの販売促進を図ったものでございます。次に、平成27年2月及び平成28年1月から平成28年2月にかけて、大・中・小ホールの女子トイレの一部について、洋式化改修工事を実施いたしました。これは、自主事業においてアンケート等を実施しておりますが、改善要望が高く、利用者サービス向上の一環として洋式トイレへの改修工事を行ったものです。その結果、自主事業等のアンケートでは洋式化への要望・クレームがなくなりました。次に、平成27年5月からは、ところん関連グッズの販売を実施しております。これは、所沢市のゆるキャラ、ところんのPRへの協力と自主財源の確保を図ったものでございます。以上が、新たな利用者サービス、市民サービスとして取り組んだものでございます。また、チケットの販売促進については、従来、市の課長会、副主幹会に販売をしていましたが、平成26年度からは部長会・次長会へのチケット販売を開始しました。それから、平成27年度から市職員のミュージズ自主事業の鑑賞補助券扱い先の拡大ということで、埼玉西部消防組合の職員まで拡大したところでございます。その他に、平成28年3月から自主事業チケットの団体購入先の拡大としまして、従来は所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターの会報紙withに載せてチケットの販売促進を行っていましたが、近隣市の狭山市、入間市、東京都東村山市の勤労者福祉サ

ービスセンターにおきましても、チケットの販促拡大に御協力をいただくこととなりました。こういった市や地域と連携した取り組みや自主事業は、事業団が市の設立した法人であり、また、これまでの実績を評価していただき御信頼をいただいたからこそ、実現し得たものと考えています。平成30年度以降は、所沢市においてミュージズの大規模修繕が予定されていますが、これまで蓄積した施設維持管理のノウハウをもって、所沢市と協力しながら大規模修繕に対応し、リニューアル後においても、引き続き地域とのネットワークなど事業団の財産を活用して、安心・安全・快適な施設の管理、運営を行うとともに、地域に根差した芸術、文化の振興を図ることが事業団に課せられた使命であると考えています。最後に繰り返しますが、事業団では、このミュージズを所沢ブランドの最たるものと認識し、これまで約23年間にわたり施設の管理運営と自主事業を実施してきた中で蓄積された施設管理のノウハウをもって、地域に根差した芸術、文化の振興を図り、所沢市が推進する所沢ブランドの推進と地域の活性化に寄与してまいりますので、平成29年度以降のミュージズの管理運営につきましても、引き続きお願いしたいと思っております。

石本委員長

ありがとうございました。以上で、参考人からの御意見の開陳は終わりました。次に、質疑を許します。なお、念のため申し上げますが、参考人は委員長の許可を得て発言されるようお願いいたします。また、参考人は、委員に対して質疑することはできないことになっていますので、御了承願

います。

【参考人に対する質疑】

大石委員

カフェとレストランが昨年7月に替わったが、その理由や効果などを伺いたい。

神木参考人

平成19年4月より株式会社馬車道がレストランを運営しておりましたが、平成26年12月に同社から撤退の申し出がありました。経営的には順調でありましたが、「経営の転換ということで全店を馬車道本来の運営形態にするということ」が撤退の理由でした。その後、新しいレストランについて公募を行い、現在のOECマルシェ株式会社が選定され、昨年の7月にオープンいたしました。同社の理念は、地産地消により地域を活性化するというものでございまして、例えば、市内の農家や畜産家とのネットワークを活用しまして、所沢産里芋を使用したコロッケや所沢牛を使用したカレー、所沢牛や豚を使用したソーセージ、狭山茶を使用したケーキなど旬を取り入れたオリジナルメニューを提供しております。また、地ビールである野老ゴールデンや所沢さといも焼酎「恋も咲くところ」を提供するなど、地元の団体や企業とも連携し、所沢の豊かな食文化を一挙に味わえる魅力的なレストランとなっております。経営的にも、1年2カ月経ちましたが順調に推移しております。

大石委員

今回、指定管理の期間が1年間であるが、事業団には正職員やいろいろな形態で働いている方がいると思う。1年後、仮に指定管理者を受けられなかった場合、この財団がどのように変わっていくかということも検討されているのか。

神木参考人

いまだ今後の方向性が見えませんが、これまでの指定管理者としての実績や経験を活かしまして、平成29年度以降のミューズの管理運営につきましても、引き続きお任せいただければと思っております。

小林委員

レストランの運営について、委託ではなく協定書を締結しているということだが、どうしてか伺いたい。

神木参考人

レストランにつきましては、目的外使用になります。まず、財団では市から行政財産使用許可をいただき、その後、許可をいただいた財団がレストランと協定を結んでいるという状況でございます。

小林委員

市が推進する音楽のあるまちづくりへの協力事業として、市役所市民ホールでのコンサートや初心者のためのフルートはじめて講座を実施したということだが、出演料はどのようにしているか。

神木参考人

事業としては市が主体的に行い、それに事業団が連携して行っているも

のでございます。事業団は、今まで蓄積したノウハウを市に提供し、そういう中で若手アーティストによるミニコンサートを実施しております。また、費用につきましては事業団が負担しております。

小林委員

初心者のためのフルートはじめて講座について、これは株式会社村松フルート製作所と契約をしているのか。

神木参考人

契約を行っております内容につきましては、初めて楽器に触る方を対象とした事業で、大人の部、子どもの部、大人と子どもの部の3部があり、それぞれ定員は20人ずつですが、毎回すぐに完売となっています。1時間程度の講座ですが、経費的なことを申し上げますと、会場経費及び講師への謝礼については事業団が負担しています。1回3講座で10人程度の方に約5万円を支払っています。それから、参加費1人数千円につきましては事業団の収入となっています。

小林委員

会社としては、地域貢献のような意味合いがあるのか。

神木参考人

開館当時と今とでは、随分状況が変わってきたと感じています。音楽に携わる子ども達が少なくなったりということで、株式会社村松フルート製作所としても危機感を持っていると思います。また、株式会社村松フルート製作所は、所沢市において長く活動してきた企業でございますので、そ

ういう中で所沢市の進める音楽のあるまちづくりと連携をしたいという会社の思いがあるものと考えております。

小林委員

いろいろと自主事業を行っているが、資料を見ると収入に比べて支出が多いと感じる。先ほど、チケットの販売収入やオルガンスクールの受講料などで事業収入は3億円という説明があったが、自主事業の不足分については利用料金収入を充当するという事になっているが、これは収益からということになるか。

神木参考人

大きく分けて指定管理者の管理委託料でいただいている部分は、施設の維持管理に充てています。それから、事業団で行っている自主事業は鑑賞型や参加型があり、これらの費用が約3億円でございます。その原資になっているものが施設・備品・駐車場の利用料金収入やチケット販売収入などで約3億円ございまして、これを事業費に充てているということでございます。チケット販売収入としては約1億円あり、残りの部分というのは今申し上げた他の財源を充てて事業展開しているということでありま

す。

荻野委員

今後、大規模修繕があるということで、指定管理の期間も1年となっているが、大規模修繕や指定管理について、理事会、評議員会での情報共有はどのようにしているか。

神木参考人

現在、市ではミューズの改修、運営、維持管理に係る最適な事業の手法について、導入可能性調査を行っているところでございます。方向性が見えない状況ではございますが、平成29年度の指定管理者の申請を行うに当たっては、平成30年度以降に大規模修繕が予定されていることに伴い、次期の指定管理期間が平成29年度の1年間になったことについて、理事会、評議員会に説明し、申請手続きを進めたところでございます。今後につきましても、理事会、評議員会に報告し、情報共有を図ってまいります。

荻野委員

先日、ある理事の方にお会いしたとき、あまり状況を御存知ではなかったもので、情報共有の状況が気になっていた。市の関係者以外の理事や評議員の方から、指定管理に関して意見を聴く機会はあるのか。

神木参考人

施設の予約は1年前からのため、利用者の中にはそういったことを心配して聞かれる方はいらっしゃいます。事業団としても方向性が見えないということで、間違った情報を提供するのめどうかということで、明確に話せないところはあります。ただ、今後の方向性がはっきりすれば、ホームページで公表したり、利用されている方々にもお話をしたいと考えております。改修工事に当たり一番心配していることは、利用者の皆さんに御迷惑をおかけしないよう早めに御報告をさせていただいたり、近隣市町村の

文化施設や市内のまちづくりセンターなど御案内をさせていただくことが重要と考えております。

荻野委員

今年度まで5年間の運営方針があったが、今後の方向性がなかなか見えない中、平成29年度以降の運営方針の策定状況はどうなっているか。

神木参考人

運営方針は、事業団が目指す目標や課題、取り組むべき方策などをわかりやすく整理して、事業活動の指針とするとともに、これを広く市民の皆様にお知らせすることで、ミューズ並びに事業団の取り組みについて御理解いただくために策定しているものでございます。平成29年度以降の運営方針につきましては、次期指定管理期間である29年度の運営方針の骨子を作成し、現在、骨子の下の中柱、小柱について、平成28年度中の完成に向けて、具体的な取り組みや指標などを取りまとめているところでございます。

荻野委員

自主事業が年間約80本という話があったが、著名なアーティストなどを呼ぶ場合、何年も前からスケジュールを押さえたりということで、長期間にわたって準備に時間がかかるものもあると思う。今後、修繕のため約1年間全面休館となるが、そうすると、リニューアル後の事業についてもある程度準備しなければならないと思うが、自主事業の準備に係る期間について、平均的なものから一番長いものについて伺いたい。

神木参考人

ミューズの主な自主事業の準備期間ですが、通常は前年度の10月までに事業団で自主事業案を取りまとめまして、11月の理事会・評議員会に事業案を諮り承認を得てから、事業の広報・宣伝、チケット販売の準備を開始します。広報・宣伝及びチケット発売ですが、大ホールでチケットが高額なものなどについてはおおよそ公演日の6カ月前から、中規模の公演については3カ月から4カ月前に開始いたします。公演当日の仕込みや進行スケジュールなどの詳細については、おおむね公演日の1カ月ぐらい前から1週間前の期間で、先方と調整しております。今、お話がありましたように、中には3年ぐらい前から出演交渉を行うものもございます。それから、ホールの確保につきましては1年ぐらい前から、広報・宣伝及びチケット発売開始が4カ月から6カ月ぐらい前から、契約事務が1カ月ぐらい前というのが大きな流れです。

荻野委員

今後の方向性が決まらない中で、いろいろと御苦労があるかと思う。何パターンかシミュレーションをされて、休館中の対応などを検討されているのか。

神木参考人

現在、具体的な検討には入っていませんが、休館中も施設の予約受付などの業務は発生すると考えています。同様に、自主事業関係につきましても、改修工事が終わったときには事業展開をいたしますので、その前か

ら事業計画や打ち合わせ業務は発生すると考えております。

荻野委員

自主財源の確保の一環で、かつて一般質問で自動販売機の設置について質問したことがあるが、そのときの答弁では館内・館外合わせて10台あり、業者と随意契約を結んでいるとのことだった。その後、市で要綱が定まり、業者は公募で決定することとなったが、その後、対応の変更はあったのか伺いたい。

神木参考人

現在、利用者サービスの向上と自主財源の確保という意味で、屋内に5台、屋外に5台の計10台の自動販売機を設置しており、この台数につきましては変わっておりません。今お話がありましたように、平成26年に市で統一的な自販機の設置についての要綱ができましたので、それには事業団も対応していきたいと思っています。ただ、要綱の中では新規のものについては市が公募、入札を実施するとなっておりますことから、既存の10台の自動販売機は対象外ということになります。ですから、追加するようなときには、市に連絡いたしまして公募、入札を市にお願いするという形になると思います。

荻野委員

最近、市でもロケーションサービスに力を入れていて、ミュージアムもかなり利用があるということだが、そうした場合は事業団にロケーションの利用申請があり、収入が入るような仕組みになっているのか。

神木参考人

ミュージズを使ったロケーションサービスですが、施設利用をされる場合などは利用料金をいただいています。なお、ロケーションサービスについては、市の関係部署と事業団で常に連携を図っているところでございます。

西沢委員

大ホールには立派なクロークがあるが、使っている場面に遭遇したことがない。また、中ホールにもカウンターがあって飲み物などを提供できるようになっているが、使っている場面を見たことがない。そうしたことから、建設当時の施設の利用イメージと現状とでは違ってきているのではないかと感じているが、今回の大規模修繕に関して、事業団からいろいろな提案や状況報告などを市側にする機会はあるのか。または、平成29年度、指定管理を受けた以降に想定されるのか、その辺はどのような状況なのか。

神木参考人

事業については施設管理をしておりますので、不具合や使い勝手の悪い部分については、当然、修繕計画の中で取り入れてもらうよう市に話していくつもりでございます。それから、大ホールのクロークについてですが、冬場はコートなどを預かることが多く、非常に活用されております。BUFFEについては、大・中・小ホールにあり、事業によって売り上げが随分変わってきますが、自主事業時については必ず出店しております。その中で少し飲み物を飲んだりサンドイッチを召し上がっていただくという

ことで、御利用いただいております。あと、一般貸し出しでも、利用者から要望があれば、レストランと相談していただき出店することもできますので、そういう活用の仕方もあるのかなと思います。

西沢委員

自主事業の中で、一番利益率が高いものは何か。それから、自主事業に来られるお客に対して、どういうエリアから来て、どういう年齢層かといった調査は行っているのか。

神木参考人

なかなか儲かる事業というものはございません。と申しますのも、ホールのキャパシティと特性の問題があります。演歌のコンサートを例を挙げますと、演歌に適したホールは中ホールですが、これは約800人収容となります。大ホールで後ろのステージバック席を使わずに開催すると約1,800席ということで、キャパシティによって収益は変わってきます。また、ホールによって特性が異なり、演歌やポップ系のコンサートは大ホールには適しておりません。それから、お客様がどういうエリアから来たかや年齢層に関する調査ですが、自主事業につきましては毎回アンケートをとっておりますので、どこから来ているのか、どういう交通手段で来ているのか、年齢といった情報は蓄積しております。

石本委員

市制60周年のときに、NHKのど自慢を市民体育館でやったが、なぜミューズという立派な施設があるのにそこでやらないのかということ

言われた。施設の特性として、大ホールではなく市民体育館でやらざるを得なかったのだと思うが、この間、そういう条件がうまく合わないがゆえに、コンサートやテレビイベントなどを取りこぼしたりしたことはあるのか伺いたい。

神木参考人

特にはございません。

小林委員

所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターへの団体割引について、所沢市の他に入間市、狭山市、東京都東村山市にまで拡大されているということだが、団体割引の割引率や何人以上から適用なのか伺いたい。

神木参考人

所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターにつきましては、1割引きとなります。先ほど申し上げました他の団体も含めて、全て共通の1割引きという形で行っております。

植竹委員

災害発生時の対応方針について、災害に対する対応マニュアルというものがあと思うが、これまで訓練は従業員のための訓練だったのか。

神木参考人

まず、対応マニュアルがございます。それから、地震と火災の訓練ということで、館内の全職員を集めまして年1回ずつ実施しているところでございます。今後につきましては、来場者も巻き込んだ形での訓練などを計

画中でございます。

植竹委員

来場者も含めた訓練の話もあったが、例えば、2020年に東京オリンピックが開催されるとなると、ミュージズでもさまざまなイベントを行うのかなと思う。地震と火災については想定しているが、テロや今までにない災害も考えられるかと思うが、その辺に対する対応は検討しているのか。

神木参考人

現在、その点につきましては検討はしておりませんが、市とも連携をしまして今後、検討していきたいと思えます。

荻野委員

今回の選定委員会からの附帯意見の中に、就業規則については、社会情勢や労働環境の変化に合わせて、引き続き適切な対応を図りたいとあるが、会議録を見ても若干内容的にも古い部分があるような話があったのだが、その点について具体的に伺いたい。

神木参考人

提出書類の規則の中で、また別に定めるという規定があったのですが、それらの書類については提出しておりませんでした。そうしたことから、それらの部分について指摘されたということは、担当者から聞いております。それらの書類を提出し、明確に説明ができれば、そういった指摘はいただかなかったのではないかと考えております。ただ、事業団といたしましては、今御指摘にありましたように、古いものがあるということであ

れば、それは順次新しいものに見直していくということで進めていきたい
と思います。

荻野委員

例えば労働関係の法改正の対応について、人数的にも少ない中で、なか
なかカバーしきれない部分があるのかなと推測しているが、現状の就業規
則の見直しの体制はどうなっているのか。

神木参考人

市と連携しながら関係法令の情報を収集しております。また、社会保険
労務士と契約をしておりますので、就業規則も含め適切に対応していき
たいと考えております。

西沢委員

障害者の雇用が0点となっているが、事業団の業務内容からすると障害
者雇用は難しいということか。今まで雇用がなかった経緯を知りたい。

神木参考人

民間企業の法定雇用率は2%ですので、常用雇用者50人に1人という
ことになります。事業団の常用雇用者は16人ですので、法的には問題は
ないものと考えています。また、今後につきましては、職員採用があるか
どうかわかりませんが、そういう中では公平な対応をしていこうと思っ
ております。

西沢委員

事業団としてはそういう体制づくり、障害者を雇用した場合のルーチン

ワークみたいなものを、現状では用意されていないという理解でよいか。

神木参考人

現状では考えておりません。

小林委員

施設利用申し込みの抽選会について、市民団体優先枠を設置して、市民が優先的に施設を利用できるように配慮されていると思うが、市外の割合はどのぐらいか。

神木参考人

手元に資料はありませんが、数年前で約34%だったかと思います。

小林委員

大ホールはクラシック専用ホールをとということで、クラシックをやっている方には本当に評判がよい。ポップスの場合には、スピーカーを使っていたりして、前の席のお客さんには音が大き過ぎて、かえって不快感を与えることがあるようだ。舞台の音響について、大ホールを含めて主催者側と舞台関係者との話し合いで決めているのか。

神木参考人

ポップスなどを行う場合、スピーカーを入れるわけですが、それについてはPA席で音の調整をしています。なお、調整については、館にいるスタッフと音楽事務所が連れてきたスタッフで、音質や音量などアーティストの要望を協議しておりまして、そのようにして一つの公演を成り立たせている状況です。

荻野委員 舞台操作業務や機械設備などについては、事業団からまた別の業者に委託をされていると思うが、常勤的な働き方をしている委託先業者は、どのぐらいあるのか。

神木参考人 現在、建物総合管理業務では西新サービス株式会社、舞台操作運営業務では株式会社シグマコミュニケーションズです。

荻野委員 シグマコミュニケーションズは、公演があるときだけ来るのか。それとも施設に常駐しているのか。

神木参考人 公演があるときだけではなく常駐しております。ミュージズについては、舞台は何人、音響は何人、照明は何人という形で常駐しています。

荻野委員 休館となるとそういうところにも影響が出てくると思うが、業者との情報の共有はどうなっているのか。

神木参考人 先ほど申しあげましたように方向性が見えない状況ですので、逆に不安をあおってしまう可能性があります。ですから、もう少し方向性が見えた段階で、きちんと話さなければいけないと考えております。

石原委員

先ほど避難訓練の質疑があったが、スタッフに対する応急救護や救命講習はどれぐらい実施しているのか。また、AEDについて、設置基数と今後増設していく必要があるのか伺いたい。

神木参考人

AEDなどの講習につきましては、職員、委託先などの関係者を集め、2年に1回程度実施しております。AEDの設置につきましては、管理棟1階のインフォメーションに1台と、大・中・小ホールに各1台を設置しています。

大石委員

所沢市では、所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、COOL JAPAN FOREST構想を打ち出しているが、現状では航空記念公園やミュージアムと連携を図っていきたいというようなことも伝え聞いてくるのだが、COOL JAPAN FOREST構想、アニメのまちづくりといったものに対して、連携やアプローチがあったか伺いたい。

神木参考人

特にはございません。

【参考人に対する質疑終結】

石本委員長

以上で、参考人に対する質疑は終了しました。この際、参考人に対し、委員会を代表して一言お礼を申し上げます。本日は、お忙しい中を本委員会のために御出席いただき、貴重な御意見を述べていただき、心から感謝

いたします。本委員会といたしましては、御意見を今後の委員会審査に十分生かしてまいりたいと思います。今日は、誠にありがとうございました。

休 憩（午前10時4分）

（参考人退室）

再 開（午前10時13分）

【補足説明】 な し

【質 疑】

荻野委員

議案質疑の中で、施設の代替を考えずに進めていきたいとおっしゃった一方で、早めの告知をして何らかの代替方法をとっていただけるような手はずをとっていききたいというようなこともおっしゃっていたが、その点について再度御説明いただきたい。

吉田文化芸術

振興課長

約1年間の休館を予定している中で、自主事業の会場は基本的にはアウトリーチ事業を除き、施設の代替は想定しておりませんが、その間、利用者の活動する場所がなくなるということがございます。そのことについて、ミューズを使うということであれば、利用を前後にずらしていただくこととなりますし、どうしてもその期間にやりたいということだと、まちづくりセンターのホールや同規模ということになりますと、近隣の狭山市や入間市のホールを御案内する形で対処することとなります。

荻野委員

導入可能性調査の結果が12月には出るということだが、調査結果は公表されるのか。

吉田文化芸術

何らかの形で報告させていただきます。

振興課長

大石委員

公益財団法人所沢市文化振興事業団は、市民文化センターミュージック指定管理しておらず、収益はこれのみである。導入可能性調査の結果によっては、なくなるかもしれないという状況だが、この財団はミュージック立ち上げの際に所沢市が関わって作ってきた組織で、市長が理事長を務めている。今後について、働いている方も含め、どのように調整をしながら進めていくのか、現状における担当の考えをお示しいただきたい。

吉田文化芸術

まずは、指定管理期間が1年ということで選定委員会でお認めいただいたわけですが、それ以降の話になりますと、運営面については今、事業団が行っている手法、いわゆる維持管理や運営も含めてこういった形がベストかということで、現在導入可能性調査を行っておりますので、まさにその先の話になります。事業団につきましては、少なくとも現在やっているような運営の中で言うと、その期間には施設の予約管理やメンテナンスといった部分については休館中も必要になってきます。そういった業務の割

り当てや職員配置は、そのときどこが運営しているかは未定ですが、この後検討していきたいと考えております。

小林委員 1年前から予約等を行う場合、平成30年度は工事中になるわけだが、その場合はどのようになるのか。

吉田文化芸術振興課長 その時期については、現在のところ運営主体になるところがどこかというのとは定まっておられません。いずれにしても、その段階でその役回りを持つ事業主体が、利用者に向けて改修期間やリニューアル後の宣伝、告知、あるいは予約の受け付けといったことをやっていくことになると思います。ですから、先ほど平成30年度の事業主体は未定だと言いましたが、実際のところそういった事業手法が定まれば、早急にそういったPRや市民・団体への周知をしていかなければいけないと考えております。

小林委員 導入可能性調査の結果が12月に出るとのことだが、平成28年中にそういったPRや市民への周知を行うということか。

吉田文化芸術振興課長 平成28年12月末までに報告を受けることになっており、市民への周知はそれ以降になります。

【質疑終結】

休 憩（午前10時19分）

再 開（午前10時49分）

【意 見】

荻野委員

至誠自民クラブを代表して、賛成の立場から以下のとおり意見を申し上げます。1. 市民文化センターの今後の改修手法や運営方法等に関する情報について、指定管理者と常に迅速に共有を図るよう努めること。2. 休館中の対応について、市内外の代替施設等に関する情報を幅広く収集し、利用者等に対して、迅速に提供するよう努めること。3. 目標年度における確実なリニューアルオープンに向け、常に社会経済情勢や先進事例等も注視しながら、着実な計画の実施や財源の確保等に努めること。4. 東京オリンピック・パラリンピック関連の文化的プログラムを含め、リニューアルオープン後の各種事業や興行等を着実に実施するため、いかなる運営体制になっても早い段階から準備に着手するよう努めること。5. 今後の事業団のあり方について総合的に検討すること。

小林委員

日本共産党所沢市議団を代表して、反対ではありませんが、以下のとおり4点意見を申し上げます。1. 改修費用の規模が大変大きいことから、積算根拠を明らかにしていくこと。2. P F I 方式も含めて調査ということになっていますが、P F I 方式は市民の財産を民間事業者に長期にわたって丸儲けの対象にさせることとなります。鎌倉芸術館においても、受注

事業者が出てこなかったということもありましたし、各地でPFI方式は経営破綻しています。そうしたことから、PFI方式を対象としないことを求めます。3.文化振興事業団はこの施設しか管理していないことから、総合的にこの事業団をどうしていくのかということも含めて検討することやここで働く人達の雇用にも多大な影響があることから、しっかり保障していくこと。4.1年間休館となることから、常時施設を使用している団体等に対して、施設の紹介など多様な形でその対応を丁寧にしていくこと。以上、意見を申し上げまして賛成いたします。

【意見終結】

【採 決】

議案第80号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第74号「平成28年度所沢市一般会計補正予算（第3号）」

当委員会所管部分（市民部）

【補足説明】なし

【質 疑】なし

【議案第74号 当委員会所管部分質疑終結】

【意見・採決保留】

休 憩（午前10時54分）

（説明員交代）

再 開（午前10時55分）

○議案第74号「平成28年度所沢市一般会計補正予算（第3号）」

当委員会所管部分

【意見】

大石委員

賛成の立場から意見を申し上げます。今回、所沢駅東口駅ビルに入るサービスコーナーの設計費が計上され、現在、駅サービスコーナーとパスポートセンターが市民課の所管として駅ビルに入ることになっておりますが、今後、所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略のCOOL JAPAN FOREST構想との連携を図っていくためにも、この駅サービスコーナーは非常に重要な拠点ではないかと思えます。それから、市民文化センターミュージズについては、中央公民館、松井公民館、新所沢公民館、小手指公民館分館といったホールなどと地域連携を図っていただき、この所沢駅サービスコーナーでチケットを販売できるようにするといったことも、ぜひこの設計の中で検討していただきたいということを求め、意見いたします。

【意見終結】

【採決】

議案第74号当委員会所管部分については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○閉会中の継続審査申出の件について（特定事件）

閉会中の継続審査申出の件については、別紙の内容で申出を行うことと決定した。

散 会（午前10時58分）

特定事件 常任委員会閉会中継続審査申出表

平成28年第3回（9月）定例会

市民文教常任委員会

- 1 国際社会について
- 2 市民文化について
- 3 地域コミュニティについて
- 4 市民活動について
- 5 情報の共有と市民参加について（情報公開・市民相談・個人情報保護・広聴）
- 6 消費生活について
- 7 社会保障について（国民年金）
- 8 交通安全について
- 9 交通について
- 10 社会教育について
- 11 スポーツ振興について
- 12 生涯学習について
- 13 学校教育について